

当院でご出産されたお母さまへ

「経膣分娩後の褥婦における妊娠期貧血関連指標の傾向と母子転帰

—単施設後方視的研究—

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる産後のお母さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023年4月1日～2026年3月31日に当院で経膣分娩でご出産されたお母さま
2 研究目的・方法	本研究の目的は経膣分娩でご出産されたお母さまの妊娠期における血色素(Hb)値の推移を、診療録の情報から分析し、今後の妊娠期貧血の早期の発見及び管理の改善に役立てることを目的としています。 研究の期間:施設院長許可後(2026年1月予定)～2027年3月31日
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、対象となる産後のお母さまのご家族等でご本人の意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。 その場合でもお母さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	① 背景 年齢、分娩週数、初産／経産、妊娠前体格指数、既往歴、妊娠合併症、不妊治療・体外受精の有無、妊娠中の鉄剤処方の有無 等 ②分娩関連事項 分娩様式、陣痛誘発・促進の有無、会陰裂傷の有無、会陰切開の有無、分娩所要時間、児体重、分娩時出血量、胎盤娩出方法、子宮収縮剤の使用 等 ③妊娠期及び分娩前後の検査値 血色素、ヘマトクリット、平均赤血球容積、平均赤血球血色素量、平均赤血球血色素濃度 等 ④分娩後 輸液・静注鉄剤、輸血の有無、アプガースコア(新生児の状態を評価する方法)、授乳方法、エジンバラ産後うつ病自己評価票、赤ちゃんへの気持ち質問表、心理士介入の有無 等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。 国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p> <p>研究責任者: 和田輝瑠</p> <p>湘南藤沢徳洲会病院 看護部 助産師</p> <p>住所: 湘南藤沢徳洲会病院 神奈川県藤沢市辻堂神台 1 丁目 5-1</p> <p>連絡先: 0466-35-1177</p>
-----------	---

2026 年 2 月 2 日作成(第 1.1 版)